



## 2022年4月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年12月9日

上場会社名 株式会社共和工業所

上場取引所 東

コード番号 5971 URL <https://www.kyowakogyosyo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山口 真輝

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長兼管理部長 (氏名) 東川 保則

TEL 0761-21-0531

四半期報告書提出予定日 2021年12月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年4月期第2四半期の連結業績(2021年5月1日～2021年10月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年4月期第2四半期	5,407	62.9	742	1,493.0	749	217.3	517	175.9
2021年4月期第2四半期	3,318	25.2	46	85.2	236	37.4	187	29.3

(注) 包括利益 2022年4月期第2四半期 503百万円 (90.5%) 2021年4月期第2四半期 264百万円 (128.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年4月期第2四半期	381.47	
2021年4月期第2四半期	138.25	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年4月期第2四半期	15,351	12,641	82.3
2021年4月期	14,452	12,246	84.7

(参考) 自己資本 2022年4月期第2四半期 12,641百万円 2021年4月期 12,246百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年4月期		0.00		80.00	80.00
2022年4月期		0.00			
2022年4月期(予想)				80.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2022年4月期の連結業績予想(2021年5月1日～2022年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,000	36.1	1,200	117.3	1,300	60.1	900	57.4	662.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年4月期2Q	1,360,000 株	2021年4月期	1,360,000 株
期末自己株式数	2022年4月期2Q	2,297 株	2021年4月期	2,297 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年4月期2Q	1,357,703 株	2021年4月期2Q	1,357,733 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	P. 2
(1) 経営成績に関する説明 .....	P. 2
(2) 財政状態に関する説明 .....	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	P. 6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	P. 6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	P. 7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	P. 8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	P. 9
(継続企業の前提に関する注記) .....	P. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	P. 9
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更) .....	P. 9
(会計方針の変更) .....	P. 9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、緩やかな回復が見られたものの新型コロナウイルス感染症の度重なる政府の緊急事態宣言の発令等、経済活動の制限が続きました。国外においては、ワクチン接種の進展を背景に経済回復の動きが広がっておりますが、一部地域において変異種を主要因とする感染症拡大が見られ、先行き不透明な状態が続いております。

主要取引先である建設機械業界においては、新型コロナウイルス感染症の影響が縮小し需要が堅調に推移いたしました。

このようななか、当社グループ（当社、連結子会社及び持分法適用会社）の経営成績は、下記のとおりとなりました。

当第2四半期連結累計期間は、売上高54億7百万円（前年同期比62.9%増、20億88百万円増）、営業利益7億42百万円（前年同期比1,493.0%増、6億95百万円増）、経常利益7億49百万円（前年同期比217.3%増、5億13百万円増）、親会社株主に帰属する四半期純利益5億17百万円（前年同期比175.9%増、3億30百万円増）となりました。

主要な事業部門別の概況は以下のとおりであります。なお、当社グループは単一セグメントであるため、セグメントごとに記載しておらず、事業部門別に区分して記載しております。

#### 「建設機械部門」

建設機械部門の売上高は、50億91百万円（前年同期比66.6%増、20億35百万円増）となりました。

#### 「自動車関連部門」

自動車関連部門の売上高は、71百万円（前年同期比50.6%減、73百万円減）となりました。

なお、収益認識会計基準等の適用により、売上高が27百万円減少しております。

#### 「産業機械部門」

産業機械部門の売上高は、62百万円（前年同期比79.6%増、27百万円増）となりました。

#### 「その他部門」

その他部門の売上高は、1億82百万円（前年同期比118.9%増、98百万円増）となりました。

なお、収益認識会計基準等の適用により、売上高が6百万円増加しております。

### （2）財政状態に関する説明

#### ① 資産、負債及び純資産の状況

##### （資産）

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ8億99百万円増加し、153億51百万円となりました。これは主に、受取手形、売掛金及び契約資産が3億77百万円、現金及び預金が2億95百万円、電子記録債権が2億19百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

##### （負債）

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比べ5億4百万円増加し、27億10百万円となりました。これは主に、長期借入金が1億31百万円、未払法人税等が1億2百万円、流動負債その他が1億9百万円、買掛金が77百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

##### （純資産）

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比べ3億94百万円増加し、126億41百万円となりました。これは主に、利益剰余金が4億9百万円増加したこと等によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、53億78百万円となり、前連結会計年度末と比して2億95百万円増加しました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

税金等調整前四半期純利益7億49百万円、減価償却費1億43百万円、仕入債務の増加額77百万円等の資金の増加に対して、売上債権の増加額5億92百万円、棚卸資産の増加額77百万円等の資金の減少により、営業活動によって得られた資金は3億65百万円となりました（前年同期比、86百万円の収入減）。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

有価証券の償還4億円、定期預金の払戻85百万円などの収入がありましたが、有価証券の取得4億円、有形固定資産の取得1億50百万円、定期預金の預入85百万円などを支出したこと等により、投資活動により使用した資金は1億64百万円となりました（前年同期は、2億5百万円の収入）。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

長期借入金の返済1億12百万円、配当金の支払1億8百万円などの支出がありましたが、長期借入金3億円の調達があったことから、財務活動によって得られた資金は77百万円となりました（前年同期は、2億36百万円の支出）。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、当第2四半期までの業績動向を踏まえ、2021年6月11日の「2021年4月期決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日（2021年12月9日）公表いたしました「2022年4月期第2四半期累計期間の業績予想値と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年10月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,167,612	5,463,242
受取手形及び売掛金	1,985,439	—
受取手形、売掛金及び契約資産	—	2,362,751
電子記録債権	576,881	796,162
有価証券	1,700,000	1,700,000
商品及び製品	394,362	404,119
仕掛品	185,124	234,928
原材料及び貯蔵品	151,077	177,654
その他	27,142	8,361
流動資産合計	10,187,641	11,147,220
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	927,418	898,461
機械装置及び運搬具(純額)	853,031	758,095
その他(純額)	533,975	666,597
有形固定資産合計	2,314,425	2,323,153
無形固定資産		
投資その他の資産	12,930	10,920
投資有価証券	1,501,975	1,427,119
関係会社株式	245,538	251,777
その他	189,599	191,221
投資その他の資産合計	1,937,113	1,870,118
固定資産合計	4,264,469	4,204,193
資産合計	14,452,110	15,351,413
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	628,078	705,955
1年内返済予定の長期借入金	154,000	210,000
未払法人税等	173,249	275,449
賞与引当金	190,400	243,800
その他	408,316	517,632
流動負債合計	1,554,044	1,952,837
固定負債		
長期借入金	24,000	155,500
役員退職慰労引当金	256,677	267,252
退職給付に係る負債	243,331	254,843
その他	127,171	79,592
固定負債合計	651,180	757,189
負債合計	2,205,225	2,710,026

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年10月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	592,000	592,000
資本剰余金	464,241	464,241
利益剰余金	10,054,026	10,463,343
自己株式	△9,421	△9,421
株主資本合計	11,100,845	11,510,162
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	635,014	591,062
為替換算調整勘定	511,024	540,161
その他の包括利益累計額合計	1,146,039	1,131,223
純資産合計	12,246,885	12,641,386
負債純資産合計	14,452,110	15,351,413

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年5月1日 至 2020年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年5月1日 至 2021年10月31日)
売上高	3,318,605	5,407,086
売上原価	2,796,955	4,021,456
売上総利益	521,650	1,385,630
販売費及び一般管理費	475,067	643,571
営業利益	46,582	742,058
営業外収益		
受取利息	7,932	5,402
受取配当金	17,391	17,027
投資有価証券評価益	24,330	—
雇用調整助成金	94,499	—
持分法による投資利益	2,228	6,239
補助金収入	22,890	—
その他	22,607	10,910
営業外収益合計	191,880	39,579
営業外費用		
支払利息	484	504
為替差損	238	5,554
固定資産売却損	1,535	—
投資有価証券評価損	—	25,776
その他	—	328
営業外費用合計	2,259	32,165
経常利益	236,203	749,472
税金等調整前四半期純利益	236,203	749,472
法人税、住民税及び事業税	29,672	258,979
法人税等調整額	18,812	△27,440
法人税等合計	48,485	231,538
四半期純利益	187,718	517,933
親会社株主に帰属する四半期純利益	187,718	517,933



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年5月1日 至 2020年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年5月1日 至 2021年10月31日)
四半期純利益	187,718	517,933
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	63,780	△43,952
為替換算調整勘定	12,659	29,136
その他の包括利益合計	76,439	△14,816
四半期包括利益	264,158	503,117
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	264,158	503,117
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2020年5月1日 至 2020年10月31日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2021年5月1日 至 2021年10月31日）
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	236,203	749,472
減価償却費	158,580	143,721
賞与引当金の増減額（△は減少）	△39,250	53,400
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	△3,158	10,575
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	11,277	11,511
受取利息及び受取配当金	△25,323	△22,429
支払利息	484	504
持分法による投資損益（△は益）	△2,228	△6,239
雇用調整助成金	△94,499	—
補助金収入	△22,890	—
投資有価証券評価損益（△は益）	△24,330	25,776
有形固定資産売却損益（△は益）	1,535	—
売上債権の増減額（△は増加）	78,736	△592,823
棚卸資産の増減額（△は増加）	△34,721	△77,988
仕入債務の増減額（△は減少）	27,435	77,277
その他	43,234	133,632
小計	311,087	506,390
利息及び配当金の受取額	25,304	22,413
利息の支払額	△487	△492
雇用調整助成金の受取額	61,699	—
補助金の受取額	22,890	—
法人税等の支払額	△2,238	△162,749
法人税等の還付額	34,019	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	452,274	365,562
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△85,000	△85,000
定期預金の払戻による収入	85,000	85,000
有価証券の取得による支出	△400,000	△400,000
有価証券の償還による収入	676,243	400,000
有形固定資産の取得による支出	△58,336	△150,042
有形固定資産の売却による収入	2,750	—
無形固定資産の取得による支出	—	△11
投資有価証券の取得による支出	△11,937	△13,522
投資有価証券の売却による収入	—	500
その他	△3,178	△1,621
投資活動によるキャッシュ・フロー	205,540	△164,697
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	—	300,000
長期借入金の返済による支出	△126,000	△112,500
リース債務の返済による支出	△1,989	△1,989
配当金の支払額	△108,628	△108,465
財務活動によるキャッシュ・フロー	△236,618	77,045
現金及び現金同等物に係る換算差額	8,159	17,719
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	429,356	295,629
現金及び現金同等物の期首残高	4,154,280	5,082,612
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,583,637	5,378,242

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(連結の範囲の重要な変更)

当第2四半期連結会計期間より、新たに設立した株式会社共和ワークスタイルを連結の範囲に含めております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。これにより、有償受給取引については、従来有償支給元への売り戻し時に売上高と売上原価を計上しておりましたが、その一部については加工代相当額のみを純額で収益として認識する方法に変更することといたしました。また、従来営業外収益として計上していたもののうち、金型取引等顧客に対して財又はサービスを移転するものについては、売上高として計上することといたしました。

なお、「収益認識に関する会計基準の適用指針」第98項に定める代替的な取扱いを適用し、商品又は製品の国内の販売において、出荷時から当該商品又は製品の支配が顧客に移転される時までの期間が通常の間である場合には、出荷時に収益を認識しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高が21,172千円、売上原価が30,789千円減少し、営業利益が9,617千円増加しておりますが、営業外収益が9,617千円減少したことにより、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。また、利益剰余金の当期首残高に与える影響はありません。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、第1四半期連結会計期間より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示することとしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第2四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。これによる、四半期連結財務諸表への影響はありません。